

会 議 録

会議の名称	第6期 1月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会
事務局	福祉保健部 自立生活支援課、小金井市障害者地域自立生活支援センター
開催日時	令和元年1月14日（火） 午後6時30分から午後7時
開催場所	小金井市 前原暫定集会施設 A会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>高橋 智委員（会長）、矢野 典嗣委員（副会長）、佐藤 宮子委員 赤濱 高之委員、高野 美子委員、吉岡 博之委員、福原 昌代委員 山崎 美喜委員、小幡 美穂委員、加藤 佳代子委員、三笠 俊彦委員 畑 佐枝子委員、加藤 了教委員、宮井 敏晴委員、緒方 澄子委員 室岡 利明委員</p> <p>【事務局】</p> <p>自立生活支援課長 自立生活支援課障害福祉係長 自立生活支援課相談支援係長 自立生活支援課障害福祉係主査 自立生活支援課相談支援係主査 自立生活支援課障害福祉係主任 小金井市障害者地域自立生活支援センター</p>
会議内容	第6期 1月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会のとおり

第6期 1月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会 会議録

(会長)

只今から自立支援協議会合同部会を開催します。

まずは各部会報告からお願いします。

1 部会からの報告

(1) 相談支援部会

本日は来月全体会で、地域生活拠点の整備の方針を相談支援部会で報告しますので、事務局が作ったものに対しての意見を頂きました。詳しい話については2月の全体会でご報告できればと思っております。

(2) 生涯発達支援部会

砂川さんに来ていただいて、公開勉強会ということで勉強会を開催しました。人数としては結構な参加人数でした。ちゃんと数えていませんが、おそらく30人はいらっしやったかなと思います。

(会長)

発達支援部会の今回の課題として、医療的ケアをあげていまして、その一環としてモアさんに来ていただきました。とても大事な勉強会だったと思います。一つは、2016年の総合支援法で地方公共団体が教育・医療・福祉等々連携のもとに、医療的ケアを行うということになっているが、そこから先の改定というのはなくて、あとは地方自治体・公共団体に任せるということになっている。すごく、地域間格差が大きい状況の中で、モアさんが小金井市にあるってことは、小金井にとってとても大事なリソースではないかと思います。ただ、残念ながら知られていることは広く知られていませんし、そもそも医療的ケアについて十分知られていないということが、そこから先議論が進んでいけないということで今回のような学習会を設けました。とても素敵な会になったと思います。ぜひこれを学校や地域などあちこちの場で実施できるいいと思います。要するに、積極的にモアさんの方も取り組んでいきたいという風にして。できればきりりともっと連携をとれたらなんて話もありましたし、小金井市では医療的ケアの必要なお子さんが進学していることもあり、モアさんとしてもできる範囲でサポートできればという話もありました。今回の学習会をきっかけにして、自立支援協議会の重点課題になっていることもあるので、さらに一歩前へ進めていけるような議論になるのかなと思っています。

(3) 社会参加・就労支援部会

今回は、商工会さんへアンケートを依頼して、その回答案について委員で協議しました。色々な質問が出ておりましたので、それについてご回答申し上げます内容について議論を致しました。また、多少残った時間で来期についての課題についても、後に引き継げるような内容として残そうという話が出ました。

(4) 生活支援部会

資料4にある、障害者家族防災パンフレットの中身の最終確認をさせていただきました。ご覧いただくと黄色やグリーンでマーカーしてあるものがございしますが、黄色が一回修正をして、さらにグリーンになっているのが再修正をかけたものになっております。修正のところはそれで落ち着いたところでございます。それから、イラストが大宰府の特別支援学校のPTAさんからいくつか借りていますが、まだ同意書を貰えていないので、間に合わなかったら少し差し替えるので、畑委員の方でいっぱいイラストを準備していただいたので、イラストを差し替えるところが幾つか出てくるかなというのがあります。

あと聴覚障害者のところで、10ページですが、平野会長さんの方からいくつかコメントが寄せられています。

ただ、イラストをもっと多くしてわかりやすくして欲しいということでしたが、イラストを入れると字を減らすか何か工夫をしなくちゃいけないので、現状では難しいだろうということで収めようかなというところです。

全体的にはこれがもう少し字が大きくなって、ルビをつけるような形で印刷業者と調整をしながら、28ページで収まるようにしていきたいと思っておりますが、校正をかけながら最終的に間に合わせるように努力したいと思っております。

12月にワーキングで、生活支援部会以外の方にも来ていただいて意見交換させてもらい、最終修正を12月28日にさせていただきました。ご協力いただいた皆さん、どうもありがとうございました。

主にこの防災パンフについての検討させていただきました。

後半の残った時間のところでは、第六期の生活支援部会での総括をどうするかで、部会としてのアンケート用紙を作っているもので、それぞれ委員さんが気づいたことを出してほしいということにし、今月中にメールで返事をもらうことにしています。ちょっと出た意見で部会の運営の方法で、部会終了後に全体会をしています。全体会の前に各部会の報告があるので、部会は部会でもう少しできるようにしてもらえないだろうかとか、部会の構成メンバーとしては夜間出難い人もいたりするので、部会が独自に時間調整してできると良いということが少し出ていましたので、今後の検討課題になるかなというところです。

その他は内容をもう少し精査して、第六期で1年目と2年目それでどんな活動をしたかを整理して、成果物としてどういうふうにするか、基本的には「障害のある人もない人も……」という条例が制定されて、施行され、逐条解説を作り上げたという事が一つ大きなことと、防災パンフも作り上げたというのが生活支援部会としては成果としては挙げられるのではという所で終わっています。

2 報告事項

(事務局)

今日起こったことなので、詳しいことはまたその他で協議する時間があればお願いしたいですが、頭出しだけをお伝えいたします。

本日午前中に、市議会厚生文教委員会の方で逐条解説案について教えてほしいという方が何名かいらっしゃったようでして、課長がまだ議会にいますので、調整させていただいて、例えば逐条のワーキングの方から市議会議員の方にお教えすることはできるかなと思いますが、事務局から勝手に答えるわけにはいかないのではというふうにお伝えしておりますので、もしもお話できたら、その他でよろしく願いいたします。

(会長)

何を教えてほしいという話でしょうか。

(事務局)

まず、逐条解説案が今どうなっているのか教えてほしいというのが、主訴だと思われます。それについては、自立支援協議会で作っているところですので、これ発言難しいですが、あくまでも自立支援協議会としてはこのように作りました、というふうにお話するのであればと思いますが、それも私のほうから勝手に答えるわけにはいかないのでは、この後のその他でご議論いただければな、というところでございます。

(会長)

はい、了解致しました。また後でその辺については検討いたします。

3 その他

(事務局)

それでは、資料につきましてご説明いたします。

本日机上に配付しておりますのが、

資料1 障害平等研修（DET）一般アンケートまとめ案

資料2 「令和元年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会」作品集抜粋

資料3 全体会各部会の第6期振り返りと次期への引継

資料4 防災パンフ原稿案（未定稿）

資料5 防災パンフ原稿案（未定稿）もくじ案

資料6 令和 年分 給与所得の源泉徴収票【国税庁HPより】

資料の方は以上です。

不足しているものがございましたらご連絡ください。

(1) 障害者週間スペシャルイベント（DET）のアンケートについて
（事務局）

資料1につきましては、DETの一般アンケートのまとめ案となっております。

資料については、メールでお送りしましたのでお読み取りいただきたいところでございますが、12月7日のDET研修につきましては、全体としておおむね好意的な回答だったとアンケートでいただいているとお読み取りください。

（会長）

委員の皆さま方も良いということと思いますが、今お話あったように全体的に好評だったのかなってということですが、これにつきまして何か質問等ございましたらお願いいたします。

（委員）

質問ではございませんが、当日は本当にお疲れさまでした。

もっと少ないかと思いましたが、結構いらっしゃって、実際に傍聴席にも体験ブースを設けて、体験してそれを実感された方と、聞いているだけでもすごく勉強になったという話も、後から私も直接聞きました。

実際、私達もやってみたかったので、皆さんいろいろ思うところがあったと思いますが、すごく積極的にやってくださったので、とても感謝しております。

結構私が突っ走って、この企画をやってきましたが、責任を感じながらどうなるんだろうって不安でしたが、やはりDETの方もとても研修が上手で、いろんな意見を引き出してくださったので、またそれを共有することもできたので、とても良かったと思っています。

(2) 令和元年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会作品について

(事務局)

資料2は令和元年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会作品集抜粋になっています。

1 ページめくって見ていただくと、最優秀賞というところで、上から5段目の法務大臣政務官賞というところで、東京都小金井市立南中学校の安西さくらさんの「思いやりのバトン」というものが選ばれました。最終ページあたりに、全文載っています。

最後の下に(5)と書いてあるところの下の段の方になりますが、その中に、障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を生み出す小金井市条例について言及されている部分があります。

読みますと、「私の住む小金井市には障がいのある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例があります。その中に、共生社会という用語の定義が次のように書かれています。共生社会：差別を解消し、障害者と障害者でない者とが分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら地域の中で共に手を取り合い、安心して暮らすことのできる社会を言う。私達1人1人の意識と思いやりの心が、社会を変えていくのかと思いました。私も母のように困った人を見かけたら、ためらわず声をかけて手助けしようと強く思いました。」というように書かれています。

(会長)

教育委員会の方が、東京都で最優秀賞という全国区で紹介いただきました。全国でも評価される状況で、この中学生を、がっかりさせないような条例の中身作りを、さらに進めていくことが、自立支援協議会の委員に課された大事な課題なのかなと思いながら私は拝見させていただきましたけれど、何かご意見等ございますか。

(委員)

あの意見ではございません。感想ですが、若い世代でこの条例のことを知ってくださっていることがとても嬉しいと思いますし、やはりこういう視点で、特に奇妙だと感じた理由はっていうところが、やはり現実だと思いますが、困っている人ではなく、それを見過ごして、そのまま通り過ぎていく人たちの姿がとても奇妙だという、まるで居ないように。やはりこういうところが、社会全体の課題だとは思いますが、若い世代から少しずつそういう意識が広まっていくといいと言っているだけではなく、私達も広めていかなくてはと思いました。

(会長)

私はぜひ、教育委員会の方が作成された、子供向けのリーフレットの中に人権作文をそのまま入れていただきたいと、改訂版作って頂きたい、非常に良いのかなと思っていますが、残念ながら今日は議会の方が忙しいって話でしたので、機会がありましたら、事務局のほうからも一言、そういうふうに言っていただけると、後々残るといようなことになると思いますので、ぜひお伝え下さい。

(3) 第6期の振り返りと、次期への引き継ぎについて

(事務局)

資料3は、全体会各部会の第6期の振り返りと、次期への引き継ぎという形で提出させていただいた資料です。

これはこの場でご協議いただくものではなく、皆さんから回答いただいて次回か、もしくは次々回の協議会の方に資料として提出できればな、というふうに考えています。

今回の全体会は2月21日(金)になりますので、その2週間前くらいの2月7日までに、みなさんからの回答が事務局である自立生活支援センターのほうに、メール等々で送られてきましたら、皆さんに次の全体会でお渡しできるように、おまとめしたいなというふうには考えています。2月1日を締め切りと提示させていただいて、それが難しければ3月の専門部会のときに提示できればなと考えているところです。

(4) 法定調書について

(事務局)

次にちょっと資料番号が飛びますが、資料6について説明します。法定調書という形で源泉徴収事務に必要になりますので、これ毎年度お願いしていますが、住所・氏名・生年月日、マイナンバーの記入をいただいて事務局までお渡しください。前年提出した方、もしくは前年と同じ方は大丈夫ですので。事務局の方で処理させていただきます。

なお、これについては個人の方に謝礼をお支払いさせていただいている方のみ、該当するものでございますので、よろしく願いいたします。

(5) 防災パンフレットについて

(事務局)

資料4、5になります。資料4のほうは防災パンフの現行案で未定稿です。資料5は防災パンフの目次案になります。

先ほど生活支援部会の部会長からも報告させていただきましたが、約1年かけて生活支援部会のほうで協議させていただきました、パンフレット案が素案としてはできあがったという形をとりたいと思います。一昨年、見ている方はわかるかと思うのですが、ここからさらに印刷業者さんがかなりきれいに作ってくださるので、そのようにお読み取りいただければと思います。

(会長)

ここで確定ということですので、ちょっと見ていただいて、ご意見など頂けたらと思います。これで確定ですね。

(事務局)

「てにをは」とか、あからさまに間違いの部分に関しては修正しますが、基本はこれで印刷業者さんをお願いして、レイアウトを整えていただくという形になります。

(会長)

一応、生活支援部会の方では確認済みということですので、ちょっと見ていただいて。

それでは、疑問等がございましたら事務局の方までお願い致します。

4 次回の開催日程等

(事務局)

次回の開催日程等についてです。次回は第6期の地域自立支援協議会の2期におきまして、最後の全体会となります。令和2年2月21日の金曜日、18時30分からです。時間がずれますのでお気をつけください。

前原暫定集会施設A会議室で開催いたします。よろしくお願いいたします。

(事務局)

合同部会の冒頭で事務局から少しお話させていただきました逐条解説案について、市議会厚生文教委員会からご意見があったことについて、お諮りしたいと思います。

ワーキングチームの方に、8回にわたってご協議いただいたものでもございますので、案ですよという形で、この後ご了解いただいた後に示したいと思うのですけれども、あわせて単に渡すだけではなくって、教えて欲しいみたいなことも言われているところもありまして、そういったことについてワーキングの方全員なくても代表の方でもいいんですけれども、そういった答えをしていただ

けるのは可能かどうかを確認させていただきたいと思ひまして、協議させていただきます。

(会長)

ちょっと趣旨がよくわからないのですが。

できてからそういったことについて議論すればいいのかなっていうふうに思ひうのですが、何故出来る前に、そういうことなのかなっていう。

(事務局)

市議会厚生文教委員会としては自分たちも関わって制定された条例なので、その逐条解説についても、何か知りたいというか、正確に言うと思ひ意見を言いたいなところまで意見が出ています。

課長の方からは自立支援協議会の委員の方が一生懸命作ってもらっているもので、それに対して意見を入れるような話ではなく、教えて欲しいっていう形での話し合いですよねということを確認させていただいたというところなんですけど。

(会長)

この条例を作ったときの経緯などがあってですね。なかなか難しい議論が混在していてということもあったんですね。

非常に私個人として率直な感想では、大丈夫かなっていうところで。

あくまでも、自立支援協議会委員が作る言葉でですね。

特にでき上がってから勉強会とかにさせていただければと思ひうのですが、その他の（自立支援協議会）委員の皆様はどうでしょう。

(委員)

逐条解説についてはワーキングをやっていく上で1回出して意見を聞く場を持ちましたよね。

そこで出てきた意見を踏まえて、逐条解説の最終的な案を作成して今に至っているところですけども、それを過ぎて今なって意見とか言われても私はとても困ると思ひいます。

(会長)

いやいや勉強会って形で後から開いてもらうのが一番いいのかなと私も思ひいます。

それにこの部会で議論していただき、それから、全体会でも多くの議論をしてい

たので、傍聴しようと思えば、できたしそれから勉強会もあったので。

この最期になってですね、特別な配慮をしなきゃいけないっていうのは、市民と区別しなきゃいけないっていうことがよくわからない。

(委員)

パンフレットじゃなくて逐条解説について知りたいってことですよ。

説明するだけだったら私個人としては全然構わないですけど、こういうことでこういう形で出てきましたという方でも説明できることではある。

けれども、やっぱり実際の自立支援協議会委員の声が聞きたいということであれば、私自身は別に問題はないと思うので、それによって変えるということになったらもう1回会合を開かなきゃいけないので。っていうことだけはちゃんとご説明いただければ大丈夫かとは思いますが。

(委員)

逐条解説のワーキングに私はたくさん出席したので思うんですけど、一回、意見交換会もありましたし。

あれだけ話し合ってきたことを、例えば佐藤さんが説明だけにいらっしゃるならいいけど意見言わせてくださいって、ここからまたやるのかと。

次期の時かしらっていう気が私はします。

(会長)

えっと、最終確定は来月の全体会ですよ。

これから日程調整をして会議をお開きくださいっていうことになっちゃいますよね。

なかなかちょっとそれは難儀かなと思います。

この逐条解説の名義としては小金井市と自立支援協議会との連名で確か出すんじゃないかなってしょうか。

(事務局)

11月の全体会で見ていただいた通り、表紙に自立支援協議会編という形で作っておりますので、あくまでも自立支援協議会の皆様にお作りいただいたものだというふうに思っております。それから、10月に意見交換会している経過もあります。

だからといって議員さんとしても、知りたいということであればこちらからこういうものができましたとお伝えすること自体はやぶさかでないところもあるかと思っております。

こういうふうにできましたっていう形での学習会であればというところで委員の皆様にご聞かせさせていただきましたところです。

(高橋会長)

やっぱりそれはすいません、2月に来月確定してその後でちょっと勉強してもらえばいいのかなと思うので、ずいぶんと反対意見も多かったので、この自立支援協議会委員としては2月に関係したものが間もなく出来上がりますからそれをぜひまたご活用くださいっていうことでいかがでしょうか。

それで、お願いいたします。

それでは、これで合同部会終了いたします。ありがとうございました。